








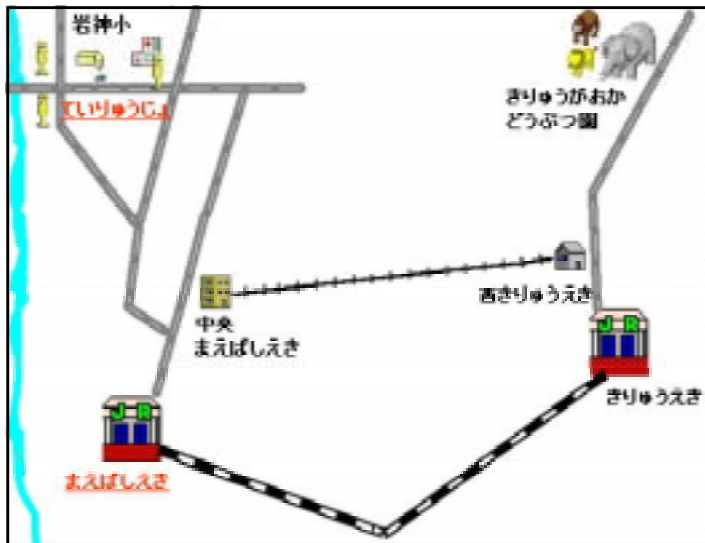


資料編

-  ガイドブック (P.12)
-  プレゼンテーション NO.1~NO.8 (P.12~P.13)
-  資料2 (A児の「考えの道」より抜粋)を拡大したもの (P.14)
-  A児の「考えの道」の全体写真 (P.14)
-  資料8 B児のグループが最初にまとめた物 (P.15)
-  資料4 グループで交流して深めた気付き (P.16)
-  資料9 「バス新聞1.2」 (P.17~P.18)
-  児童の考えをまとめた「全体の考えの道」 (P.19)
-  第2学年生活科指導案
単元名「のりものによって出かけよう」 (P.20~P.28)

ガイドブック(行き) * 帰りは、矢印を反対にしたものです。

プレゼンテーション NO.1



NO.2



クリックすると
公共施設や
名称が、表れるように
しました。

NO . 3



NO . 4



NO . 5



NO . 6



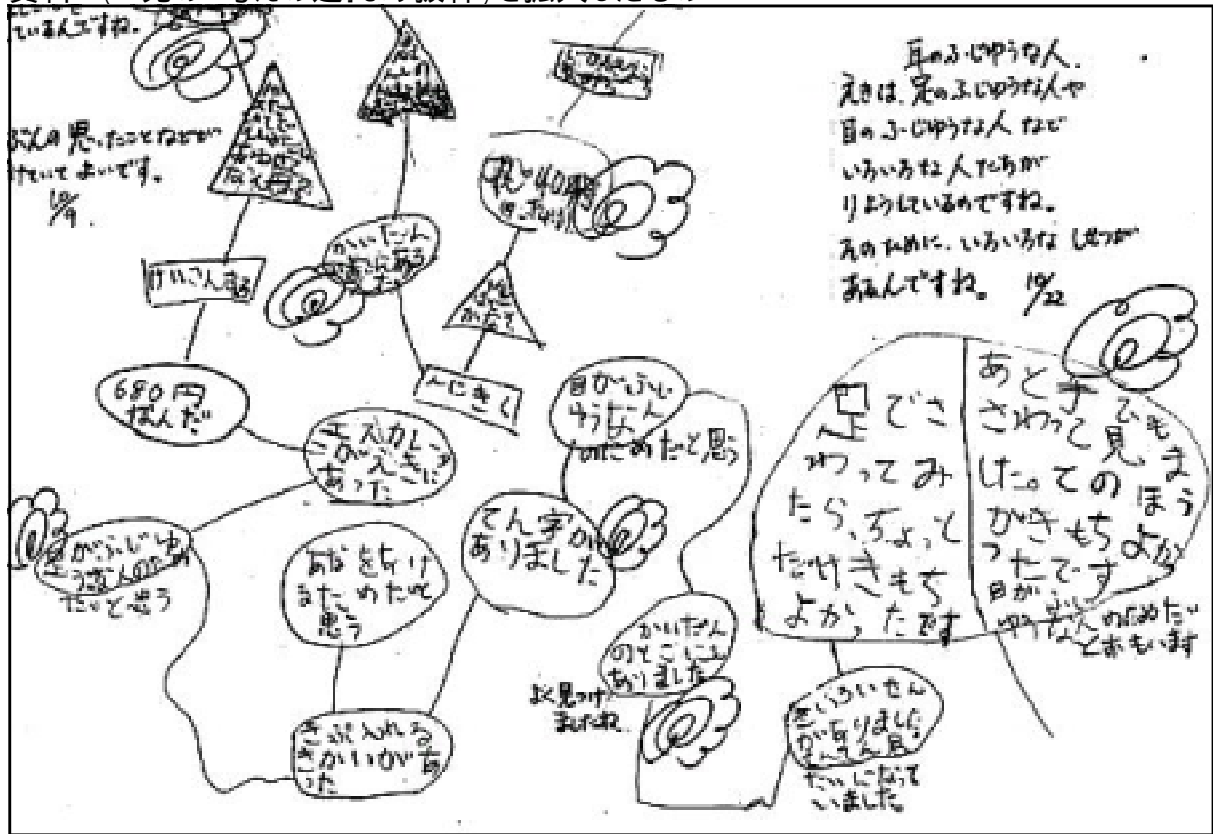
NO . 7



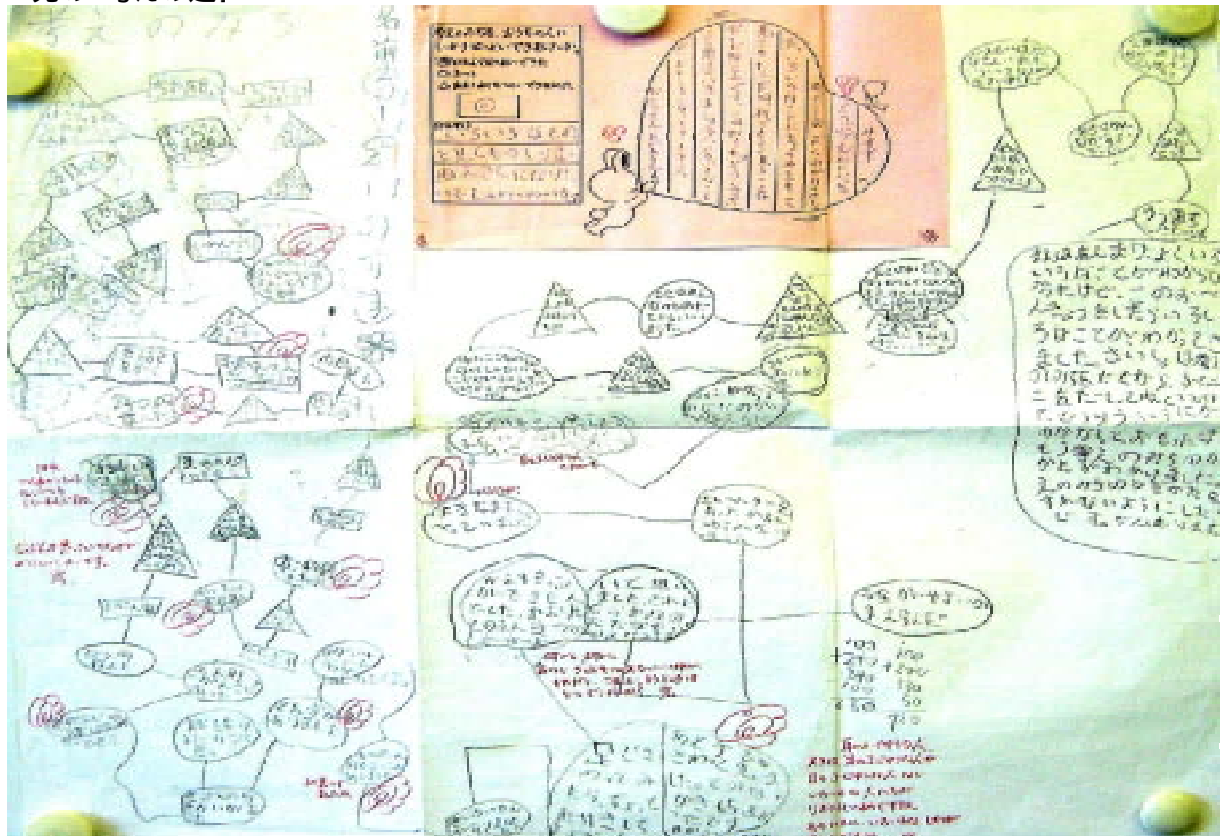
NO . 8



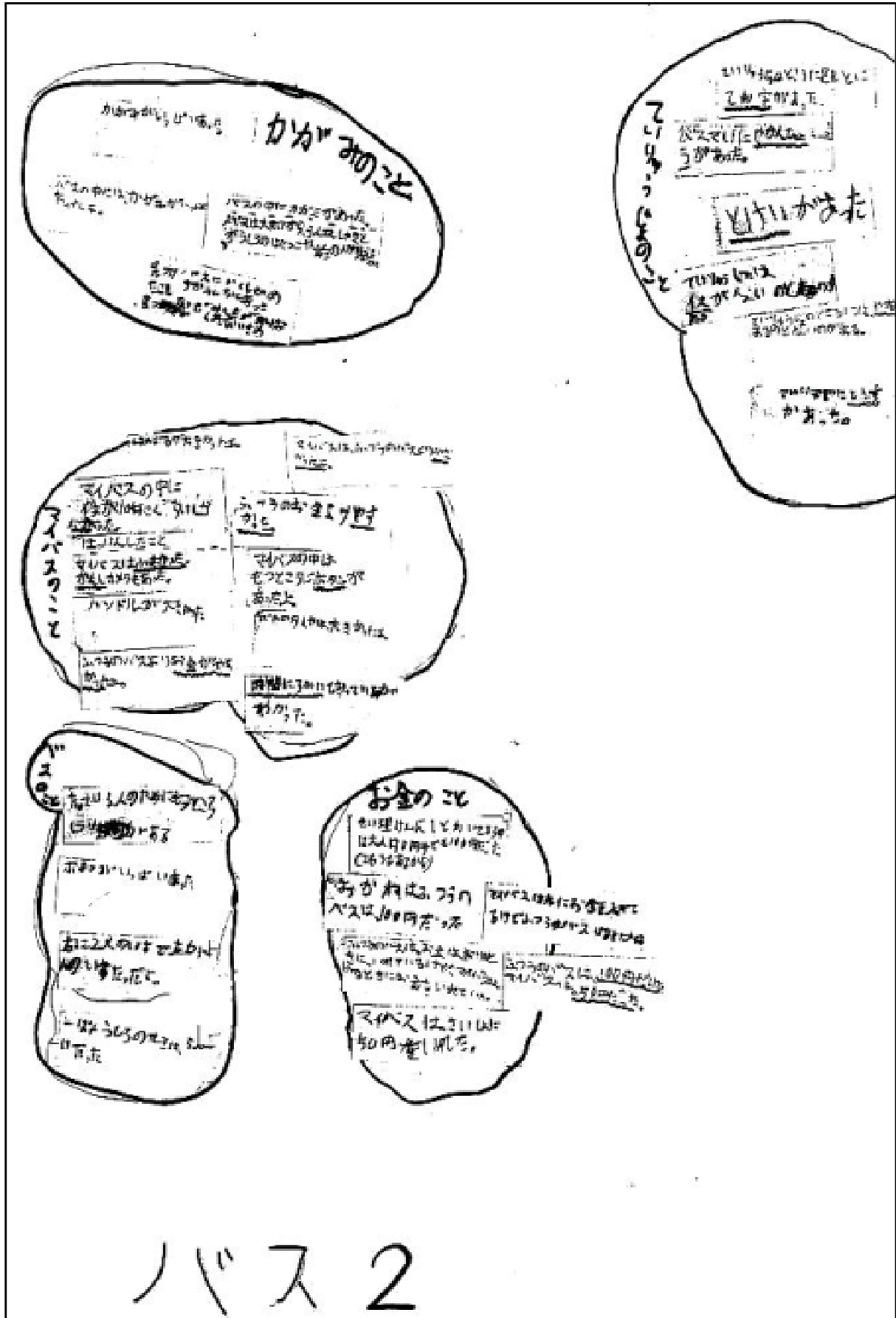
資料2 (A児の「考えの道」より抜粋)を拡大したもの



A児の「考えの道」



資料8 B児のグループが最初にまとめた物



資料4 グループで交流して深めた気づき

あんなののために
うんてんしさんが
かかみをつけて
いろんなところを
見えています。

かかみのこと

まちの中のほそいみちを
ほじるため

マイパスのこと

ていりやじにはおきく
さんのためにいろいろな
くふうがあります

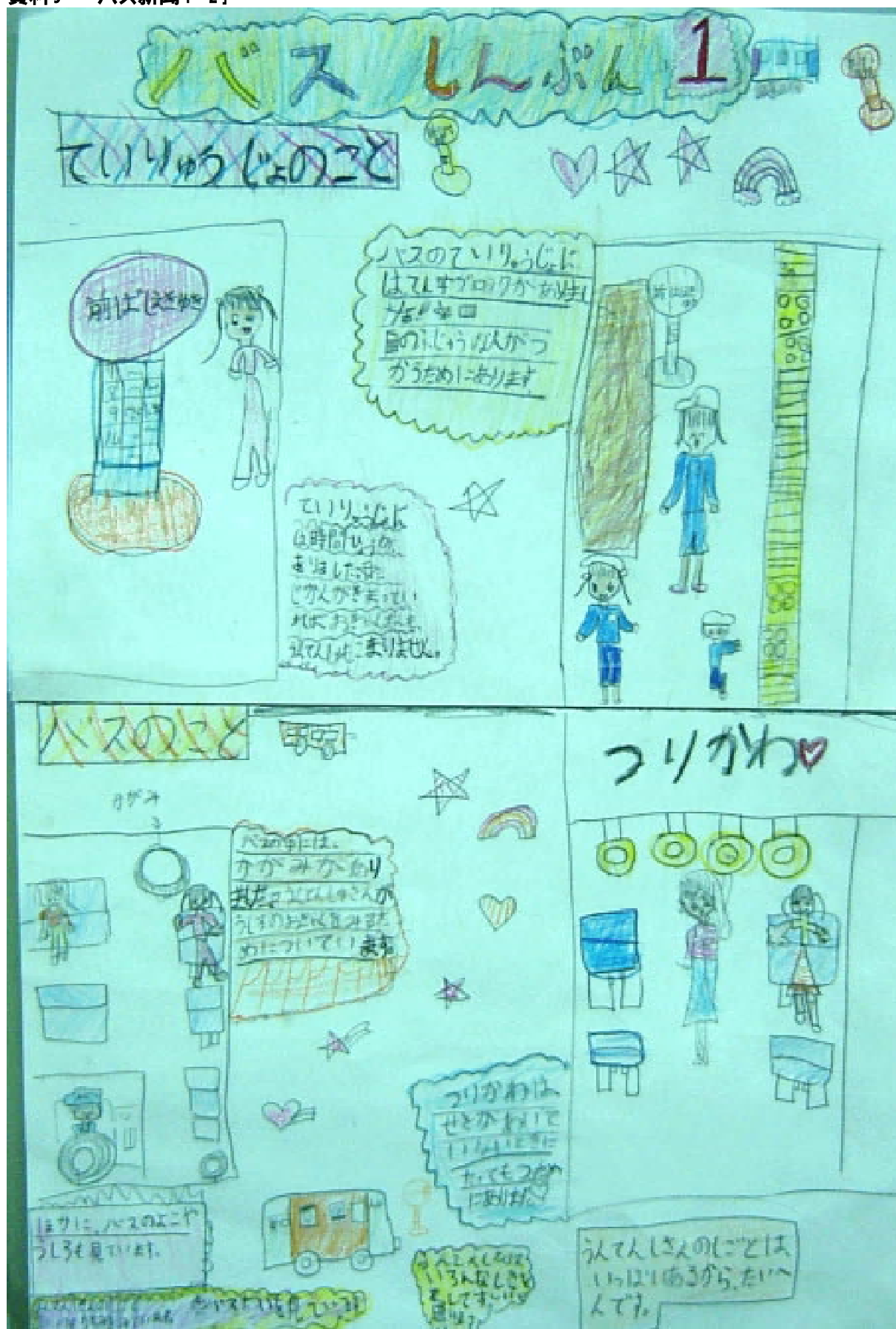
やさしい
みんなかかみのねる
から
まちに人がどうほいける
ように

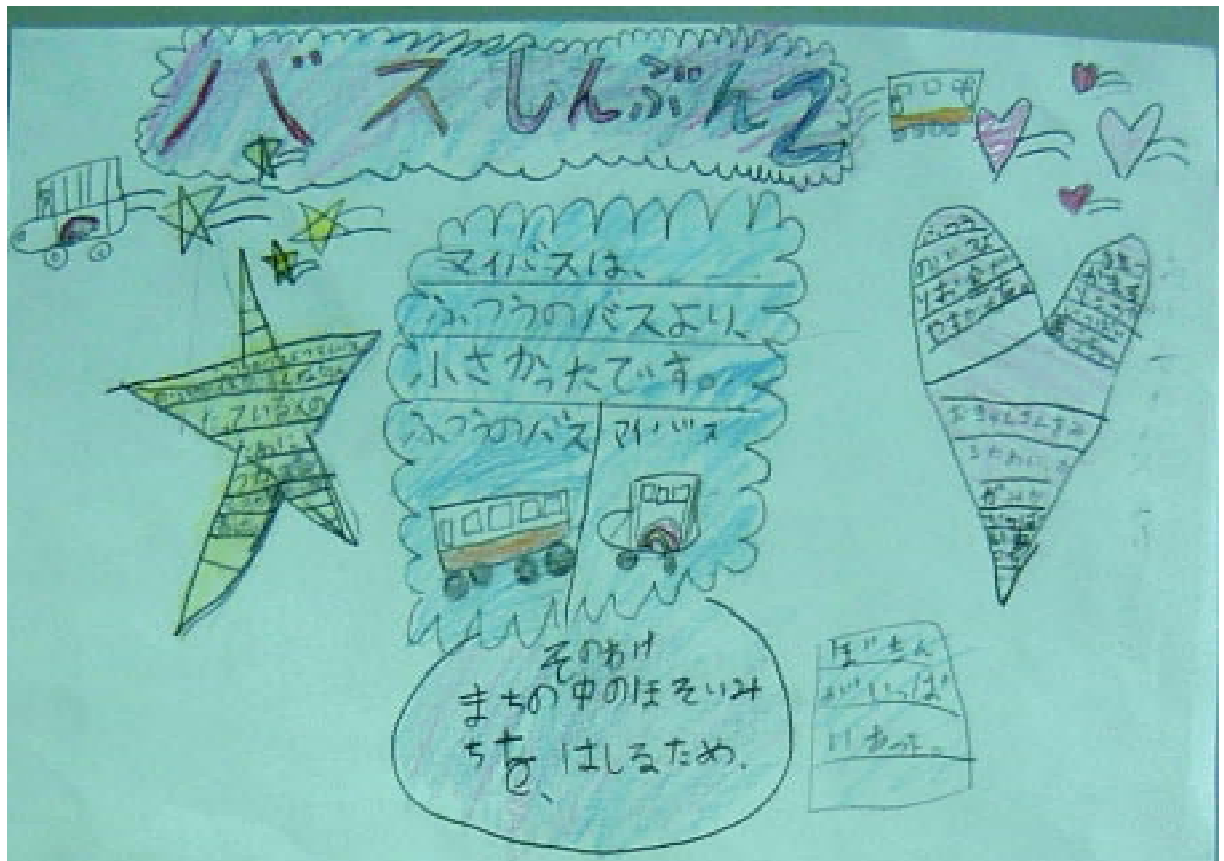
お金のこと

マイパスは50円をいれる。

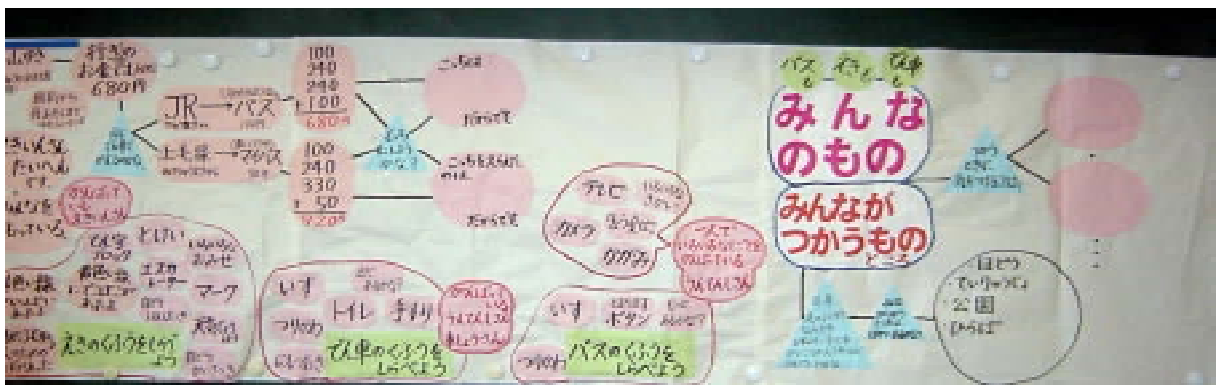
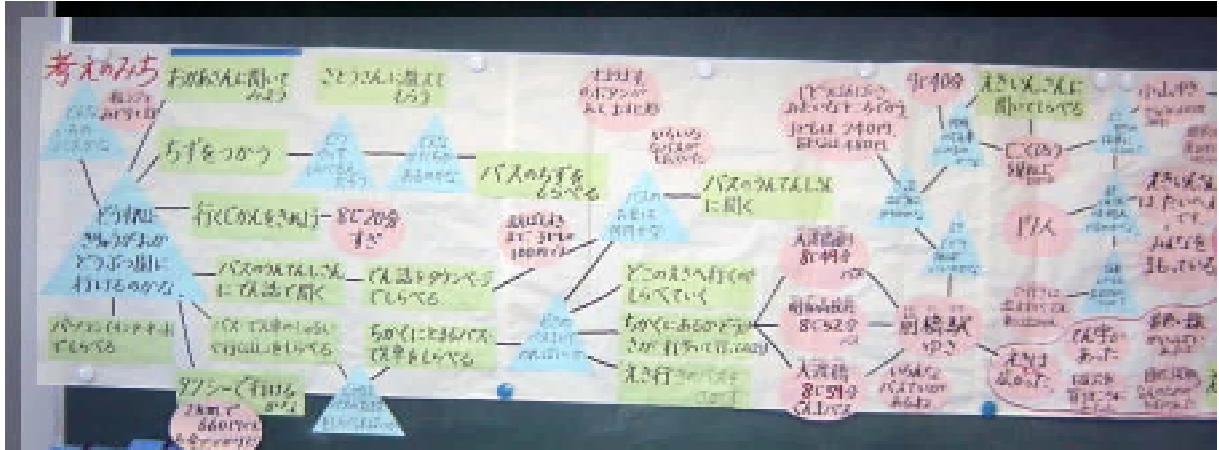
バスには
おきくさんかやんりなもの
おきくさんの親切なためもの
があります

バス 2





児童の考えをまとめた「全体の考えの道」



研究の展開

第2学年生活科指導案

1 単元名 のりものによって出かけよう

2 単元の考察

本単元は、内容(4)「公共物の利用」を受け、実際に路線バスや電車を利用する活動を中心に設定したものである。

本校は、前橋市中心部に位置し、近くに公園、文化施設があり、様々な路線バスも通っている地域である。2学年の児童は、学校生活を営む中や、「こうえんたんけんをしよう」「町たんけんに出かけよう」などの学習を通して少しずつ公共の意識が芽生えてきている。

バスや電車の利用に関しては、今までにバスにも電車にも乗ったことがあると答えた児童は40人中25人であるが、自家用車の普及のために、利用頻度は低いのが実態である。そして、バスや電車について知っていることについては、「たくさんの人が乗っている」「運転士さんがいる」「バス停がある」「トイレがある」など様々なことが挙げられたが、児童は、乗り物のもつ公

共性やそれを支える人々の努力や乗り方のルールやマナーについての知識は、ほとんどもっていないというのが実態である。

そこで「自分たちの力で桐生が岡動物園に行ってみよう」と投げかけることにより、「動物園に行ってみよう」という願いや、乗り物の必要感をもたせ、バスや電車の乗り降りする場所、時刻表、料金の支払い方などを自分たちで調べて、実際に動物園まで行く具体的な活動や体験を重視していく。それを通し、不安を乗り越えながらも、みんなで使うもの、みんなのために役立っているものという意識をもってバスや電車を正しく利用できるようにし、親しみをもち運転士さんや駅員さんとかかわっていくことができる考えた。そして対象に意欲的にはたらしかけながら、社会の一員として生活するという自立の基礎を養うことができると考えた。

3 目標及び評価規準

市内を循環しているバスや上毛電鉄、JR 両毛線、中央前橋駅、JR 前橋駅などについて興味をもって調べたり、実際に乗ったりすることを通して、多くの人々が利用していることや、それらを支えている人々がいることに気付くとともに、安全に気を付けて正しく利用することができる。

	ア 生活への関心・意欲・態度	イ 活動や体験についての思考・表現	ウ 身近な環境や自分についての気付き
内容のまとめとりの評価	公共物や公共施設を大切に利用しようとしている。	公共物や公共施設の利用の仕方について考え、工夫し、安全に気を付けて正しく利用することができる。	公共物や公共施設はみんなのものであることや、それを支えている人々がいることが分かる。
単元の評価規準	近くを走っているバスや上毛電鉄、JR 両毛線や中央前橋駅、JR 前橋駅などに関心を持ち、大切に利用しようとしている。	バスや電車や駅などの利用の仕方について考えたり、ルールやマナーを考え安全に気を付けて正しく利用したりすることができる。	近くを走っているバスや上毛電鉄、JR や中央前橋駅、JR 前橋駅は多くの人々が利用していることや、それらを支えている人々がいることに気付く。
学習活動における具体的な評価観点	バスや電車や駅などに興味をもって、かかわろうとする。 バスや電車・駅やそこで働く人々について、すすんで調べ観察する。 バスや電車や駅などの便利さに着目し、積極的に利用しようとしている。 バスや電車や駅などで働く人々やそれらを利用する人々に親しみをもつてかかわろうとしている。	バスや電車や駅などの正しい利用の仕方について考えることができる。 ルールやマナーを考えてバスや電車や駅を利用することができる。 バスや電車や駅などを利用したことや見たり聞いたりしたことを表現したり先生や友達などに伝えたりすることができる。	身の回りには、みんなで使うバスや電車や駅などがあることが分かる。 バスや電車や駅などで働いている人々がいることに気付く。 気持ちよく安全に生活するためのルールやマナーがあることに気付く。 バスや電車や駅などが利用できると自分たちの生活が楽しく豊かになることに気付く。

4 指導計画(全20時間)

時間	□ねらい 学習活動	支援及び指導上の留意点等 *特に配慮を要する児童への支援 発展的な学習にかかわる支援	評価の観点			評価項目 () 評価方法
			関意態	思・表	気付き	
2	1 動物園まで行けるかな 桐生が岡動物園への行き方を考えて、計画を立てよう。 動物園への行き方を考え、「考えの道」に知りたいことや調べる手立てなどを書き出す。 「全体の考えの道」を見て、行き方や調べる手立ての見通しを立てる。	動物の写真等を見せて遠足への期待感を高める。 共通課題を確認し、皆で自由に話し合う中で、「考えの道」に調べる手立てを書けるようにする。 *児童に寄り添って対話をしながら考えを引き出す。 自分の考えた調べ方を追究するよう助言する。				「考えの道」に行き方について知りたいことや、調べる手立てを考えながら書いている。 (考えの道) 見通し1
1 2	2 バスや電車について調べよう バスや電車について調べよう。 学校の近くの停留所を調べ、実際に外に出て時刻を調べる。 3つの停留所の中から1つを選び、バスに乗って駅まで出かけバスの乗り方を知る。 駅で電車の乗り方や時刻を調べ気付いたことを「考えの道」に書き込み、知らせ合う。 調べたことをもとに、利用するバスと電車を選ぶ。	自分の調べ方で追究した児童の様々な資料等を、資料コーナーに展示し皆で利用できるようにしておく。 バスの路線図や桐生が岡動物園までの絵地図を作成しておき、児童が見られるようにしておく。 利用するバス会社や前橋駅に、乗車したり見学したりすることを伝えておく。 *一緒に調べ活動を行い対話をしながら、児童の気付きを引き出し、ウェブマップに書き加えるようにする。 全体マップに児童の思考の道筋を書き込み、児童の気付きを確認する。				バスや電車に関する資料の準備をしている。 (資料・対話) バスや電車について知りたいことや調べる手立てを考え、資料を見たりインタビューしたり、観察したりして調べ、気付いたことを「考えの道」に書き込んでいる。 (行動・考えの道) 桐生が岡動物園に行くには、近くを走るバスや上毛電鉄、JRなどを利用すると便利であることに気付いている。 (会話・対話・考えの道) 見通し2
2	3 ガイドブックを作ろう バスや駅や電車について調べたことを、ガイドブックにまとめよう。 調べたことをもとに、バスや電車の行き方や乗り方などについてのガイドブックを作る。 グループでの約束や役割分担を相談し、発表し合う。 パワーポイントを見て行き方の大切なポイントを振り返る。 もう少し知りたいことや、気付いたことなどを考えの道に書き入れる。	バスや電車の選択によりいくつかのルートが考えられるので、時刻、料金などを考慮に入れて選択するようアドバイスする。 マニュアルを示しながらインタビューの仕方を確認する。 他のグループのガイドブックを知ることを通し、自分のガイドブックの足りない点や友達の工夫している点などに気付くようにする。 学校から桐生が岡動物園までの絵地図やバス・駅の様子などをパワーポイントで振り返り、遠足が安全に自立的に行われるようにする。 帰りのルートについても考えられるように言葉を掛ける。				バスに乗ったり駅に行ったりして見たり聞いたりしたことをガイドブックにまとめている。 (考えの道・話し合いの様子・ガイドブック) バスや駅や電車を利用する際にはルールやマナーがあることに気付いている。 (行動・考えの道・ガイドブック)
1 5	4 桐生が岡動物園に出かけよう バスや電車に乗って動物園に行き、楽しく遊ぼう。 グループごとに計画に従って安全に気を付けて出かける。 ルールやマナーに気を付けてバスや電車を利用する。 動物園で安全に気を付けて楽しく遊ぶ。 バスや電車、駅、そこで働く人々について「気付いたこと」「すごいところ」「ひみつ」などを「考えの道」に書き込む。	安全確保のため、担任外教員に支援を依頼する。 *対話をしながら、興味をもったことから気付きを深めていけるようにする。 恥ずかしがらずに、すすんでインタビューし、マナーある行動をとるように話す。 前橋駅と比較して桐生駅や西桐生駅を観察するなどの助言をする。 遠足を振り返り、バス、電車、駅、働く人々などについての気付きをウェブマップに書き足す時間をとる。 知的な気付きを皆に紹介し、さらに多様な気付きに発展できるように声を掛ける。				グループの友達と計画に従って楽しくバスや電車や駅などを利用しようとしている。 (行動・会話) ルールやマナーを考えてバスや電車や駅などを利用している。 (行動・会話) バスや電車や駅などが利用できる便利で楽しいことや、バスや電車や駅で働いている人々のおかげで楽しい遠足になったことに気付いている。 (考えの道・行動・対話) 見通し2
1 3 1	5 気付いたことをまとめ知らせ合おう 考えの道に基づき、バスや電車や駅について、発見、驚き、感動したことをまとめよう。 「バス」「電車」「駅」のグループに分かれ、気付いたこと等を付箋紙に書いて友達と交流しながら短い言葉でまとめる。 まとめたことを自分たちの主張が伝えられるように、グループごとで表現方法を考え表現する。 グループごとに発表する。 友達の発表を聞き、新たに気付いたことなどを知らせ合う。 家の人に自己の「考えの道」を説明し、コメントをもらい、自分自身で学習のまとめを書く。	友達と情報交換することを通し気付きを深められるようにしていくと共に、「なぜ、どうして」と問い返しながらかねねにせまっていこう。 視覚に訴える物や、テレビコマーシャルなどを参考に、皆に良く分かるように表現するよう助言する。 *今まで書いたウェブマップを見返しながらかねねにせまっていこう。 付箋紙に書かれていること以外のことをさらに加えて表現し、発表を豊かにしていくよう声を掛ける。 保護者に発表を参観してもらい、発表への意欲や成就感をもてるようにする。 全体の考えの道に児童の気付きを書き加えながら学習を振り返り、さらに行ってきた公共施設について考えられるようにする。 学習を通して成長した自分に気付かせ、認め、称賛し、励ます。				友達と協力して、気付いたことをまとめたり表現したりすることに進んでかかわろうとしている。 (作品・行動・会話) 気付いたことを工夫してまとめ、まとめたことを先生や友達、家族の人達に分かるように伝えている。 (付箋紙・作品・発表の様子・保護者からのコメント) 友達の発表を聞き、新たな気付きを知らせ合ったり、考えの道に書き加えたりして、気付きを深めている。 (考えの道・まとめ) 見通し3
1	6 バスや電車や駅のおじさんとなかよくなるよう お世話になった人達にありがとうの気持ちを伝えよう。 親しみや感謝の気持ちを表す方法を考える。 作った新聞やポスター、手紙や絵などを掲げる。	文字や絵をていねいに仕上げるのが親しみや感謝の気持ちを表すためには大切であることを伝える。 児童の作品の工夫しているところや表現の良いところを認め、称賛し、励ます。				手紙や絵をかいいて、バスや電車や駅などで働く人々に感謝や親しみをもってかかわろうとしている。 (作品・行動・会話)

*ガイドブック・パワーポイント(資料編参照)

5 展開

第1～2時

- (1) 目標 桐生が岡動物園への行き方を考え、計画を立てることを通して、バスや電車などに興味をもってかかわることができる。
- (2) 準備 前年度の遠足の写真 課題フラッシュカード 「考えの道」記入用紙
「考えの道」記入の約束 バスや電車に関する資料
電話のかけ方マニュアルカード 全体の考えの道

時間	学 習 活 動 ・ 児童の意識	支援及び指導上の留意点等 * 特に配慮を要する児童への支援 発展的な学習にかかわる支援	評価項目 () 評価方法
45分	<p>1 動物園まで行けるかな</p> <p>前年度の遠足の様子や動物園の写真を見て、動物園がどこにあるのか、どのような交通手段で行くのかを考える。</p> <p>課題：桐生が岡動物園への行き方を考えて、計画を立てよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桐生ってどこなのかな。 ・ 行ったことあるよ。楽しいよ。 ・ ちょっと遠い所だよ。 ・ 3年生は学校の前からバスで行ったよ。 <p>動物園への行き方を知る手立てを考え、「考えの道」に書き出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お父さん、お母さんに聞いてみよう。 ・ タウンページで調べて電話をかけてみよう。 ・ 地図を見て考えよう。 ・ バスで行くのかな。電車で行くのかな。 ・ インターネットで調べよう。 	<p>前年度の遠足の様子や動物園の写真等を見せながら遠足への期待感を高める。</p> <p>共通課題を確認し、皆で自由に話し合う中で、考えの道(ウェブマップ)に調べる手立てを書けるようにする。</p> <p>考えの道の書き方(は課題、 は解決の手立て、 は分かったこと)を確認する。</p> <p>* 児童に寄り添い対話をしながら児童の考えを引き出し、「考えの道」に書けるようにする。</p>	<p>アの 「考えの道」に交通手段について知りたいことやそれを調べる手立てを書いている。 (個人の考えの道)</p>
45分	<p>自分で考えた手立てで調べ活動を行い、分かったことを「考えの道」に書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生に聞いたら、去年は学校の前からバスに乗って、中央前橋駅から電車に乗って行ったんだって。 ・ わたしの家の近くをマイバスが走っているけどそれも駅に行くんだよ。 ・ 中央前橋駅から乗る電車は上電です。 ・ 前橋駅からも行けそうだよ。 <p>「全体の考えの道」を見て、行き方や調べる手立ての見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ バスと電車を使うといいみたい。 ・ 停留所で時刻を調べよう。 	<p>学級通信などで保護者に学習内容を知らせ、児童の相談にのったり資料を集めたりするなどの協力を依頼する。</p> <p>児童が資料を集められない場合は教師が集めた資料を提示する。</p> <p>マニュアルを示しながら電話のかけ方を確認する。</p> <p>指導者が、「全体の考えの道」に児童の考えを、抽象的なものから具体的なものへと集約しながらまとめていき、児童が解決の見通しをもてるようにしていく。</p> <p>* 一緒に「全体の考えの道」(児童の考えを集約するために教師が作るウェブマップ)</p>	<p>アの 桐生が岡動物園に行くにはどのような交通手段があるのか興味をもって考えようとしている。 (行動・会話)</p>

	を見て対話をしながら、児童が「考えの道」に書き込めるようにする。 調べ方の手際のよさを称賛し、バスや電車の乗車時刻、乗降場所などの課題に発展できるように言葉掛けをする。
--	---

第3～5時

(1) 目標 バスや電車での行き方や時刻を進んで調べ、正しい利用の仕方や公共施設の利便性について気付くことができる。

(2) 準備 前橋市内の簡略バス路線地図 考えの道 全体の考えの道
グループ乗り物表

時間	学 習 活 動 ・児童の意識	支援及び指導上の留意点等 *特に配慮を要する児童への支援 発展的な学習にかかわる支援	評価項目 () 評価方法
45分	<p>2 バスや電車について調べよう</p> <p>課題：バスや電車について調べよう。</p> <p>学校の近くの停留所を調べ、実際に出かけて時刻を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスはどこを通るのかな。 ・どんなバスが走っているのかな。 ・学校に近い停留所はどこかな。 ・どっちの停留所を調べようかな。 ・ちょうど良い、時刻に走っているのかな。 ・ちょうどよい時刻のバスは3つの停留所で 	<p>自分の調べ方で追究した児童の様々な資料等を、資料コーナーに展示し皆で利用できるようにしておく。</p> <p>学校の回りに、いくつかの停留所があるので、希望方面毎のグループに分かれて調査に出かけるようにする。</p> <p>バス会社や電車、乗る場所の選択によりいくつかのルートが考えられるので、時刻・料金などを考慮に入れて選択するようアドバイスする。</p> <p>課題は教師が与えるのではなく、考えの道に記入しながら学習の道筋を児童自らつかめるようにする。</p>	<p>アの バスや電車に関する資料の準備をしている。 (資料・対話)</p>
45分 × 2	<p>3つの停留所の中から1つを選び、バスに乗って駅まで出かけバスの乗り方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスに乗るときに整理券を取るんだね。 ・バスにはたくさんブザーがついているんだ。 ・バスにはたくさん鏡がついているよ。 ・学校の近くの停留所を探そう。 <p>前橋駅で電車の乗り方や時刻を調べ、気付いたことを「考えの道」に書き込み知らせ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちょうどよい電車は何時かな。 ・券売機で切符を買う方法を駅員さんに教えてもらったよ。遠足の日に一人で買えるかな。 ・桐生駅で降ります。桐生駅まで240円です。 ・前橋駅には点字や点字ブロックがあったよ。 ・エレベーターや絵マークがありました。 <p>調べたことをもとに、利用するバスと電車を選ぶ。</p>	<p>バスの路線図や桐生が岡動物園までの絵地図を作成し児童が見られるようにしておいたり、時刻表の見方などを指導したりする。</p> <p>利用するバス会社や前橋駅に、乗車したり見学したりすることを事前に伝え打ち合わせをしておく。</p> <p>安全指導をし、安全の確保をする。</p> <p>分かったことや気付いたことを、自己の考えの道にすすんで記入できるようにする。</p> <p>*一緒に調べ活動を行い対話をしながら児童の考えや気付きを引き出し、「考えの道」に書けるようにする。</p> <p>「全体の考えの道」に分かったことを書き込み、まとめる。</p> <p>大渡通りー JR、大渡橋ー JR、群大病院(明</p>	<p>イの バスや電車について知りたいことや調べる手立てを考え、資料を見たりインタビューしたり観察したりして調べ、気付いたことを「考えの道」に書き込んでいる。 (行動・個人の考えの道) ウの 桐生が岡動物</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・中央前橋駅を通るバスは、丁度良い時刻がありません。 新たな課題をウェブマップに書き込む。 ・帰りの方法についても考えなくちゃ。 乗ってみたいルート別のグループを作る。 	<p>和高校前) - JRの中から選べるようにする。</p> <p>帰りの方法についても考えられるように助言する。</p> <p>全体マップに児童の思考の道筋を書き込み、皆で学習の流れを確認する。</p> <p>行きや帰りのルートの希望別でグループ編成を行い、グループごとに一覧表にルート等を記入させ全体のグループの動向をつかめるようにする。</p>	<p>園に行くには、近くを走るバスや上毛電鉄、JRなどを利用すると便利であることに気付いている。</p> <p>(会話・対話・個人の考えの道)</p>
---	---	---

第6～7時

(1) 目標 ガイドブックを作ることを通して、バスや電車に乗る場合のルールやマナーの大切さに気付くことができる。

(2) 準備 考えの道 バスや電車の時刻表 拡大したバス路線図 全体の考えの道 グループ乗り物表 コメントカード ガイドブック用紙 パワーポイント

時間	学 習 活 動 ・児童の意識	支援及び指導上の留意点等 *特に配慮を要する児童への支援 発展的な学習にかかわる支援	評価項目 () 評価方法
45分 × 2	<p>3 ガイドブックを作ろう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題：バスや駅や電車について調べたことをガイドブックにまとめよう。</p> </div> <p>ガイドブックに入れたいことをグループで相談しよう。</p> <p><バスのこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・停留所の場所 ・乗るところ、降りるところ ・乗る時刻 ・料金、料金の入れ方 ・乗り方の注意、気を付けること <p><電車のこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗る駅、降りる駅 ・乗る時刻 ・料金、切符の買い方 ・乗り方の注意、気を付けること <p>調べたことをもとにグループで相談しながら一人一人が自分のガイドブックを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを落とさずに書こう。 ・絵も入れるといいね。 ・きれいに仕上げよう。 ・グループの約束を決めて書こう。 ・キャッチフレーズを作ろう。 <p>他のグループの作ったガイドブックを見合っ て情報交換し、称賛したり気付いたことなど を「考えの道」に書き込んだりする。</p>	<p>これを見れば誰でも動物園に行くことができるガイドブックを作ることを確認する。</p> <p>誰にでも分かりやすいガイドブックになるように工夫を促す。</p> <p>一人一人のガイドブックについて、要点を押さえているところや工夫されているところを認め、称賛し、励ます。</p> <p>全体マップに児童の多様な気付きなどを書き込み学習のまとめをする。さらに遠足に</p>	<p>この 実際にバスに乗ったり駅に行ったりして、見たり聞いたりしたことをガイドブックにまとめている。</p> <p>(個人の考えの道・話し合いの様子・ガイドブック)</p> <p>ウの バスや駅や電車を利用する際</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・とっても分かりやすいガイドブックだね。 これを見れば安心、安心。 ・よく調べてあるね。なるほど。がんばったね。 ・はやく動物園に行きたいな。先生がいなくても行けそうだね。 ・駅にはいろいろなバスが行くんだね。たくさん停留所があってびっくりした。 ・行き方によって料金が変わってきます。 ・桐生への行き帰りにはいろいろな方法があるんだね。 ・学校の近くをこんなにいろいろなバスが走っているとは知りませんでした。 <p>パワーポイントを見て、桐生が岡動物園までの行き方や大切なポイントを振り返る。</p> <p>バス・電車・駅・働く人々に対して、さらに知りたいことなどを「考えの道」に書く。</p> <p>家の人にガイドブックや「考えの道」を説明しコメントをもらう。</p>	<p>向けて、バス・電車・駅・働く人々の「すごいところ」や「ひみつ」を見つけるという課題を持てるようにする。</p> <p>学校から桐生が岡動物園までの絵地図、バスや駅や電車の様子などをパワーポイントで見せながら、今までの学習を振り返り、遠足が安全に自立的に行われるようにする。</p> <p>家の人に自分の学習について説明しコメントをもらうことで学習への意欲をもてるようにする。</p>	<p>には様々なルールやマナーがあることに気付いている。</p> <p>(行動・個人の考えの道・ガイドブック)</p>
---	--	---

第8～13時

- (1) 目標
- ・ルールやマナーを考えて、バスや電車に乗って動物園に行き、楽しく見学することができる。
 - ・バスや電車や駅が、そこで働く人々によって支えられていることや、自分たちの生活に役だっていることに気付く。

- (2) 準備 ガイドブック 考えの道 バス代 電車賃 遠足の準備

時間	学 習 活 動 ・ 児童の意識	支援及び指導上の留意点等 *特に配慮を要する児童への支援 発展的な学習にかかわる支援	評価項目 () 評価方法
45分 × 5	<p>4 桐生が岡動物園に出かけよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題：バスや電車に乗って動物園に行き、楽しく遊ぼう。</p> </div> <p>グループごとに計画に従って安全に気を付けて、バスや電車に乗って出かける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停留所はまかしといて、私の後についてきてね。 ・降りるときブザー係は忘れずに押してね。 ・お客さんの迷惑にならないようにマナーを守ろう。 ・バスや電車のお客さんに、利用しているわけ 	<p>さらに気付きを深めていくために、バス、電車、駅、働く人々の「すごいところ」や「ひみつ」を見つけるという課題を、前時に全体の考えの道にまとめることを通してもてるようにする。</p> <p>バスや電車、駅、そこで働いている人々の「すごいところ」「ひみつ」などの発見ができるように言葉をかける。</p> <p>安全確保のため、担任以外の教員にも支援を依頼する。</p>	<p>アのグループの友達と計画に従って楽しくバスや電車や駅などを利用しようとしている。</p> <p>(行動・会話)</p>

	<p>や便利なところなどをインタビューしてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 降りる時にはきちんと運転士さんやお客さんにあいさつしよう。 バスや電車、駅などを利用する際のルールやマナーに気付く。 乗るときはきちんと並びます。 降りるときにはブザーを押すんだね。 優先席は譲ります。 走っているときは出歩いてはいけません。 すわるときはきちんと詰めて座ります。 大きな声は迷惑になります。 降りるときはお客さんや運転士さんにあいさつをします。 <p>動物園で楽しく遊ぶ。</p> <p>桐生駅コースと西桐生駅コースに分かれ、帰りの時刻に間に合うように出発する。</p>	<p>恥ずかしがらずにすすんでインタビューをしたり、マナーを意識した行動をとったりするように話す。</p> <p>* 着眼したことを大切に、対話をしながら気付きを深めていくようにする。</p> <p>前橋駅と比較しながら桐生駅や西桐生駅を観察するなどの助言をする。</p> <p>課題以外の気付きも記入するよう助言する。</p>	<p>イの</p> <p>ルールやマナーを考えてバスや電車を利用している。</p> <p>(行動・会話)</p>
45分	<p>バスや電車、駅、そこで働く人々について、「気付いたこと」「すごいところ」「ひみつ」などを「考えの道」に書き込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電車の中に四角い箱が付いていたけれど何だろう。 駅員さんに質問したらやさしく教えてくれたよ。 たくさんの鏡がついていたよ。 運転士さんはその鏡を見て道路の車を見たりお客さんを見たりして、安全に気を付けて仕事をしているんだね。すごいね。 お客さんは町に買い物に出かけたり病院に通ったりするためにバスを利用しています。車を運転しない人達のためにバスは役に立っています。 	<p>気付きを深められるように、対話をしながら、「すごいと思ったところ」「自分だけが見つけたひみつ」を「考えの道」に書けるようにする。</p> <p>対象の理解を深める知的な気付きを、皆に紹介し、さらに気付きを深めていけるように言葉を掛ける。</p> <p>「全体の考えの道」に児童の気付きを書き加え、遠足を振り返る。</p>	<p>ウの</p> <p>バスや電車や駅などが利用できることや、バスや電車や駅で働いている人々のおかげで楽しい遠足になったことに気付いている。</p> <p>(個人の考えの道・行動・会話・対話)</p>

第14～19時

- (1) 目標
- ウェブマップをもとに、バスや電車、駅、自分自身について発見、驚き、感動したことなどをまとめ、工夫して表現することができる。
 - 表現活動や伝え合う活動を通して、公共物(施設)の役割について理解するとともに、自己の成長に気付くことができる。

(2) 準備 考えの道 付箋紙 画用紙 表現に使う材料 コメントカード

時間	学 習 活 動 ・ 児童の意識	支援及び指導上の留意点等 * 特に配慮を要する児童への支援 発展的な学習にかかわる支援	評価の視点 () 評価方法
5	気付いたことをまとめて知らせ合おう		

課題：考えの道を基に、バスや電車や駅について、発見・驚き・感動したことをまとめよう。

「バス」「電車」「駅」のグループに分かれ、気付いたことなどを付箋紙に書いて友達と交流しながら短い言葉でまとめる。

<バスグループ>

- ・マイバスは今年から運転が始まって、かわいい絵のバスです。ぼくだったら の絵を描きたいな。
- ・町に買い物に出かける人や病院へ通う人、車の運転をしない人やお年寄りのために大変役立っています。入口はお年寄りにも乗りやすいように工夫されています。
- ・学校の近くにはいろんなバスが走っていて、とても便利です。また乗りたいです。
- ・バスの運転士さんは、お客さんの安全をいつも考えて運転しています。
- ・バスにたくさん鏡がついているのは安全を確認するためだと分かりました。運転士さんはかっこいいです。

<電車グループ>

- ・子ども達の絵が飾ってありました。とても上手でした。
- ・楽しい電車にするために工夫しているんだね。
- ・駅員さんがいない駅がありました。
- ・とっても短い電車です。また乗りたいです。

<駅グループ>

- ・中央前橋駅は自動改札機はありません。
- ・西桐生駅には駅員さんは一人きりしかいませんでした。
- ・駅員さんはにこにこしていて、やさしく教えてくれました。
- ・券売機で初めて切符を買うときどきしました。
- ・切符が出たときうれしかった。

まとめたことを自分たちの主張が伝えられるようにグループごとで表現方法を考え表現する。

- ・紙芝居を作ろう。
- ・コマーシャルを作ろう。

「考えの道」を振り返り、先生や友達に教えたい気付きを付箋紙に書き出すことを通して、知的な気付きを自覚できるようにする。

付箋紙を利用してのまとめ方について指導する。

視覚に訴える物や、テレビのコマーシャルなどを参考にして、皆に良く分かるように表現するよう助言する。

「すごい」「楽しい」といった印象や感想だけでなく、「何が」という理由まで表現できるように支援する。

*今まで書いたウェブマップを見返しながら対話をし、すごいと感じたり楽しいと感じたりしたことを想起できるようにする。

付箋紙に書かれていること以外のことをさらに加えて表現し、発表を豊かにしていくよう声を掛ける。

アの

友達と協力して、気付いたことをまとめたり表現したりすることにすすんでかかわろうとしている。
(作品・行動・会話)

イの

気付いたことを工夫してまとめ、まとめたことを先生や友達、家族の人達に分かるように伝えている。
(付箋紙・作品・発表の様子・保護者からのコメント)

45
分
×
4

	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を作ろう。 ・ポスターを作ろう。 		
45分×2	<p>グループごとに発表をする。</p> <p>発表を聞き新たに気付いたことなどを知らせ合う。</p> <p>ウェブマップを見ながら学習を振り返りまとめを書く。</p>	<p>保護者に発表を参観してもらったり、児童へのコメントをもらったりすることで学習への意欲をもてるようにする。</p> <p>全体マップに児童の気付きを書き加えながら、学習を振り返り、学習を通して成長したところを、認め、称賛し、励ます。</p>	<p>ウの友達の発表を聞き、新たな気付きを知らせ合ったり、考えの道に書き加えたりして、気付きを深めている。</p> <p>(個人の考えの道・まとめ)</p>

第20時

(1) 目標 お世話になった人々に親しみを込めて、主体的に働きかけることができる。

(2) 準備 手紙や絵を描く用紙 折り紙など

時間	学 習 活 動 ・児童の意識	支援及び指導上の留意点等 *特に配慮を要する児童への支援 発展的な学習にかかわる支援	評価の視点 () 評価方法
45分	<p>6 バスや電車や駅のおじさんとなかよくなるう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題：お世話になった人達にありがとうの気持ちを伝えよう。</p> </div> <p>親しみや感謝の気持ちを表す方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの運転士さんに手紙を書こう。 ・駅員さんに電車の絵をかくて贈ろう。 ・作ったコマースシャルをポスターにして贈ろう。 ・折り紙を折ってプレゼントしよう。 <p>作った新聞やポスター、手紙や絵などを届ける。</p>	<p>文字や絵をていねいに仕上げるのが親しみや感謝の気持ちを表すためには大切であることを伝える。</p> <p>児童の作品の工夫しているところや表現の良いところを認め、称賛し、励ます。</p>	<p>アの 手紙や絵をかいて、バスや電車や駅などで働く人々に親しみや感謝の気持ちをもってかかわろうとしている。</p> <p>(作品・行動・会話)</p>